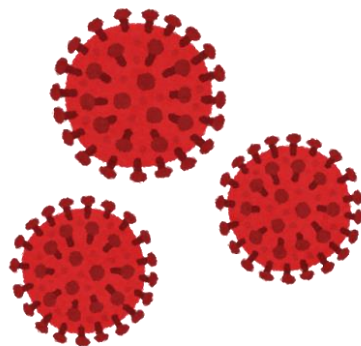


新たなモニタリング指標及び コロナ対策ガイドライン



令和 2 年 1 1 月 9 日（月）

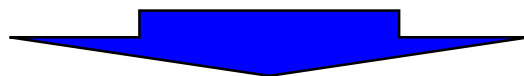
奈良市新型コロナウイルス対策本部

本市における感染状況の分析結果（要約）

- 関西2府4県、特に大阪府における、ここ2～3週間の新規感染者数の増加傾向は、**第3波の兆し**として、**改めて警鐘が必要**
- 第2波以降は大阪府の感染者数増加と本市の状況がリンクしており、直近2～3週間でも、**大阪由来の感染の増加傾向が再燃**
- 女性よりも男性が、高齢者よりも現役世代が多いことから、**出社や外出に伴う接触、飲食による感染が、感染者数増加の大きな要因のひとつ**であると分析
- また、**若者の一次感染**（県外飲食等）が、**高齢者への二次感染**（帰宅後の家庭内感染の他、院内や事業所内感染など）につながるケースあり
- 第2波では、**中等症は大幅に減少、重症はなくなっており**、PCR検査を受けることができる体制が整ったことで、軽症のうちに感染が判明していることがその要因であると分析

新たな指標及びガイドライン作成の趣旨

- ウィズコロナにおける対策の考え方
 - ・ 感染防止対策と社会経済活動の両立
 - ➔ 市民の社会経済活動の維持を前提とした、新たな生活様式における工夫や感染防止のための留意・ルールへの遵守が必要
 - ・ 感染防止対策を前提とした市民サービスの維持
- 国の分科会により提言された指標等との乖離がある
- 感染者の急増による保健所での疫学調査の負担増、非協力的な感染者の存在などにより、感染経路の解明が困難になる傾向
 - ➔ 新規感染経路不明者数を指標とすることの困難性
- 制度改正により、PCR検査陰性者数の把握（＝陽性率の算定）が困難

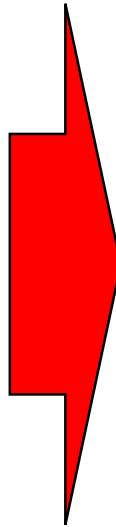


第3波に備え、現状の問題点を改善した新たな指標及びガイドラインが必要

フェーズからステージへの変更

現状のフェーズ区分

- ① フェーズⅠ
： 感染拡大リスクが概ね抑制されている状態
- ② フェーズⅡ
： 感染拡大初期
- ③ フェーズⅢ
： 感染拡大期
- ④ フェーズⅣ
： 感染まん延期



新たなステージ区分（国に整合）

- ① ステージⅠ
： 感染者の散発的発生及び医療提供体制に特段の支障がない段階
- ② ステージⅡ
： 感染者の漸増及び医療提供体制への負担が蓄積する段階
- ③ ステージⅢ
： 感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階
- ④ ステージⅣ
： 爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階

モニタリング指標の変更

現状の指標

重要指標 ※いずれかに該当	不特定多数への感染拡大リスク (①及び②)	①市内での新規感染経路不明者数(クラスターを除く) (直近1週間の合計)
		②県内での新規感染経路不明者数(クラスターを除く) (直近1週間の合計)
	医療崩壊のリスク (③及び④)	③県内での新規感染者数 (直近1週間の合計)
		④県内での重症病床使用率
参考	⑤ 大阪府での新型コロナ警戒信号	

国の分科会により提言された指標を準用



市民がわかりやすいシンプルな指標に

新たな指標（国の指標を準用）

国　の　指　標			
医療体制等の負荷	病床のひっ迫具合	全入院者	①　確保病床使用率
			②　確保想定病床使用率
		重症患者	③　確保病床使用率
			④　確保想定病床使用率
	⑤　療養者数（人数／10万人）		
監視体制	⑥　PCR陽性率（直近1週間）		
感染の状況	⑦　新規陽性者数（人数／10万人／週）		
	⑧　直近一週間と先週一週間の比		
	⑨　感染経路不明割合（直近一週間の平均）		



市の新たな指標	
$\frac{\bigcirc}{\text{（県全体の数値）}}$	
$\times$ （県から公表される①に統合）	
$\frac{\bigcirc}{\text{（県全体の数値）}}$	
$\times$ （県から公表される③に統合）	
$\frac{\bigcirc}{\text{（県全体の数値）}}$	
$\times$ （制度改正により把握困難）	
$\frac{\bigcirc}{\text{（市の数値）}}$	
$\times$ （必要条件とはしない）	
$\frac{\bigcirc}{\text{（市の数値）}}$	

新たなモニタリング指標

指 標		ステージIIへ (感染漸増段階)	ステージIIIへ (感染急増段階)	ステージIVへ (感染爆発段階)
医療体制 等の負荷	① 県内での確保病床全体 に対する使用率	10%以上	25%以上	50%以上
	② 県内での重症患者用確保 病床に対する使用率	10%以上	25%以上	50%以上
	③ 県内での療養者数	66人以上 (※5人)	198人以上 (※15人)	330人以上 (※25人)
感染の 状況	④ 市内での直近1週間の 新規陽性者数	17人以上 (※5人)	52人以上 (※15人)	87人以上 (※25人)
	⑤ 市内での感染経路不明 割合(直近1週間の平均)	20%以上	50%以上	50%以上

※ 人口10万人当たりの数値

国の基準による

ステージを上げる条件(以下のいずれかに該当した場合に、総合的に判断する)

- ①、②、③のすべての数値が3日間連続で基準に該当する場合
- ④及び⑤の数値が3日間連続で基準に該当する場合
- 上記以外で、大阪での警戒信号などを参考に必要があると判断する場合

新たな対策ガイドライン

		ステージⅠ	ステージⅡ	ステージⅢ	ステージⅣ
		感染散発段階	感染漸増段階	感染急増段階	感染爆発段階
対策の考え方		感染防止と社会経済活動の両立		感染防止に対策の重点をシフト	命を守るための緊急対策を実施
市民への啓発		新たな生活様式の徹底 感染防止のための留意事項の周知 接触確認アプリ・COCOAの働きかけ		市民に対する警鐘・啓発を強化	感染流行地への往来自粛などの行動自粛を含めた要請を実施
市役所業務運営の考え方		感染防止に最大限配慮しながら、市民サービスを維持			市民サービスは緊急のものに限定
市の主な業務	窓口業務	感染防止に配慮しながら、全ての窓口を運営		各課の窓口数制限を含め感染防止の強化	窓口業務を原則閉鎖（急ぎの用件には対応）
		郵送やオンラインの手続き、予約制等は継続			
	イベント 公共施設	感染防止に配慮しながら、開催・運営		市主催イベントは原則中止 市公共施設は定員制限を加えた上で運営	市主催イベントは中止 市公共施設は原則閉館
	学校、園 保育所等	原則、通常運営 関係者に感染者等が出た場合、当該学校園は臨時休業（対策に必要な期間）			小中学校、幼稚園及び1号認定こども園は臨時休業（一条高は県の基準） バンビーホーム、保育所等は特別保育

現在のモニタリング指標（参考）

	指 標		フェーズⅡ へ	フェーズⅢ へ	フェーズⅣ へ
			感染拡大 初期	感染拡大期	感染まん延期
重要指標	不特定多数への 感染拡大リスク	① 市内での新規感染経路 不明者数 <u>（クラスターを除く）</u> （直近 1 週間の合計）	3 人以上	6 人以上	12 人以上
		② 県内での新規感染経路 不明者数 <u>（クラスターを除く）</u> （直近 1 週間の合計）	5 人以上	10 人以上	20 人以上
	医療崩壊 のリスク	③ 県内での新規感染者数 （直近 1 週間の合計）	7 人以上	24 人以上	48 人以上
		④ 県内での重症病床 使用率	25% 以上	50% 以上	70% 以上
参考	⑤ 大阪府での新型コロナ警戒信号		黄	赤	一

フェーズを上げる条件（以下のいずれかに該当した場合に、総合的に判断する）

- ①及び②の数値が3日間連続で超える場合
- ③及び④の //
- 上記以外で⑤などを参考に必要があると判断する場合

現在の対策ガイドライン（参考）

		フェーズⅠ	フェーズⅡ	フェーズⅢ	フェーズⅣ
感染の状況		感染拡大リスクが概ね抑制されている状態	感染拡大初期	感染拡大期	感染まん延期
制限の狙い		感染拡大に配慮しつつ市民サービスを提供		感染拡大防止を最優先に一部市民サービスを抑制	命を守る徹底した感染拡大防止
市民啓発		・新しい生活様式の徹底	・感染流行地へ往来自粛		
			・基礎疾患のある方や、高齢者・妊婦の方へ不要不急の外出について注意喚起	・地域内の外出は最小限に	・地域内の外出も原則自粛
感染拡大防止対策など		「新しい生活様式の徹底」などによる感染防止と社会経済活動の両立		3密の徹底回避など徹底した感染防止対策の実施	市民の命を守るための緊急対策
市職員参集等の基準		B C P に基づき業務を遂行			
		職員は 9 割参集		職員は 7 割参集	職員は 5 割参集
		業務内容に応じた「柔軟な在宅勤務」時差出勤の推奨			7 割の通常業務削減と 2 割のコロナ関連業務増
		妊娠している職員の在宅勤務			
市の主な業務	窓口業務	・各課窓口数の制限等感染拡大に配慮しながら、全ての窓口運営		・窓口は税・福祉及び市民課等の一部に限定（急ぎの用件は対応）	・窓口の原則閉鎖（急ぎの用件のみ対応）
		郵送やオンラインの手続き、予約制等は継続			
	イベント 公共施設	・感染拡大に配慮しながら、開催・運営		・市主催のイベントは原則中止 ・市公共施設は原則閉館 ・図書館は予約貸出しのみ	・市主催のイベントは全面中止 ・市公共施設は全て閉館
	学校・園 保育所等	原則、通常運営 関係者に感染者等が出た場合は当該学校園は臨時休業（対策に必要な期間）			小中学校、幼稚園及び 1 号認定こども園は臨時休業※ バンビーホーム、保育所等は特別保育

※ 市立一条高等学校は県立高校の基準による。

新たな指標によるモニタリング結果

感染状況のステージ

ステージⅡ (感染漸増段階)

指 標		実 績 値			判断基準
		11/6 金	11/7 土	11/8 日	ステージⅢへ
医療体制等の負荷	① 県内での確保病床全体に対する使用率	16.5%	18.8%	19.9%	25%以上
	② 県内での重症患者用確保病床に対する使用率	0.0%	0.0%	0.0%	25%以上
	③ 県内での療養者数	81人	93人	98人	198人以上
感染の状況	④ 市内での直近1週間の新規陽性者数	33人	33人	33人	52人以上
	⑤ 市内での感染経路不明割合（直近1週間の平均）	30.3%	33.3%	39.4%	50%以上

現在の指標によるモニタリング結果（参考）

感染状況のフェーズ

フェーズⅡ
(感染拡大初期) ※

※ 感染経路の推定に注力中であり、総合的判断として、フェーズは維持中

指 標			実 績 値			判断基準
			11/6 金	11/7 土	11/8 日	フェーズⅢへ (感染拡大期)
重要指標 ※いずれかに該当	不特定多数への 感染拡大リスク (①及び②)	① 市内での新規感染経路 不明者数(クラスターを除く) (直近1週間の合計)	10人	11人	13人	6人以上
		② 県内での新規感染経路 不明者数(クラスターを除く) (直近1週間の合計)	21人	28人	32人	10人以上
	医療崩壊 のリスク (③及び④)	③ 県内での新規感染者数 (直近1週間の合計)	74人	78人	78人	24人以上
		④ 県内での重症病床 使用率	0.0%	0.0%	0.0%	50% 以上
参考	⑤ 大阪府での新型コロナ警戒信号		黄	黄	黄	赤